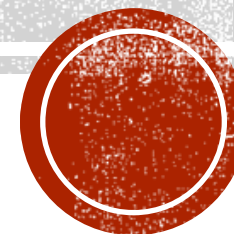


第1次府中市公共施設マネジメント 推進プラン（案）について

～これまでの取組と今後の展開～

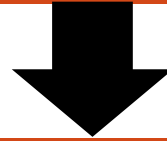


府中市 行政管理部建築施設課

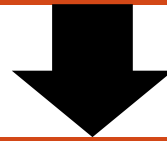
説明の構成

■ 説明の流れ

1. 第1次府中市公共施設マネジメント推進プランとは「何か？」



2. 第1次府中市公共施設マネジメント推進プランは「なぜ必要か？」



3. 今後の取組を「どのように進めていくのか？」

用語の定義①

■ 公共施設

市が保有もしくは運営する施設（建築物）で、道路や橋りょう、公園、下水道などのインフラは除く

■ 公共施設マネジメント

市民共有の財産である公共施設を適切な規模で、かつ良好な状態で将来に引き継いでいくための取組

■ 公共施設マネジメント基本方針

公共施設マネジメントの取組について、必要となる視点や今後の方策について示したもの

用語の定義②

- 施設の最適化

施設の規模や機能、サービスなどを検証し、財政状況や利用状況などに応じた適切な水準を目指す取組

- 施設の計画的保全

施設の更新周期を考慮した予防保全を取り入れ、安全性の確保や施設にかかる費用の低減、業務の効率化などを図る取組

- 公共施設マネジメントの全体像（イメージ図）



1. 推進プランとは「何か？」

■ 説明の流れ

1. 第1次府中市公共施設マネジメント推進プランとは「何か？」

2. 第1次府中市公共施設マネジメント推進プランは「なぜ必要か？」

3. 今後の取組を「どのように進めていくのか？」

1-① これまでの取組の流れ



- 現状把握

平成23年3月 「公共施設マネジメント白書」の作成

- 公共施設マネジメントの取組全体の方針

平成24年5月 「公共施設マネジメント基本方針」の策定

- 各取組の考え方

平成26年4月 ・ 「最適化に向けた検討の方向性」の策定
・ 「計画的保全の考え方」の策定

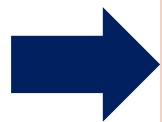


これから具体的な検討に入っていきます。

1-② 具体的な検討に向けて

検討のために必要な要素

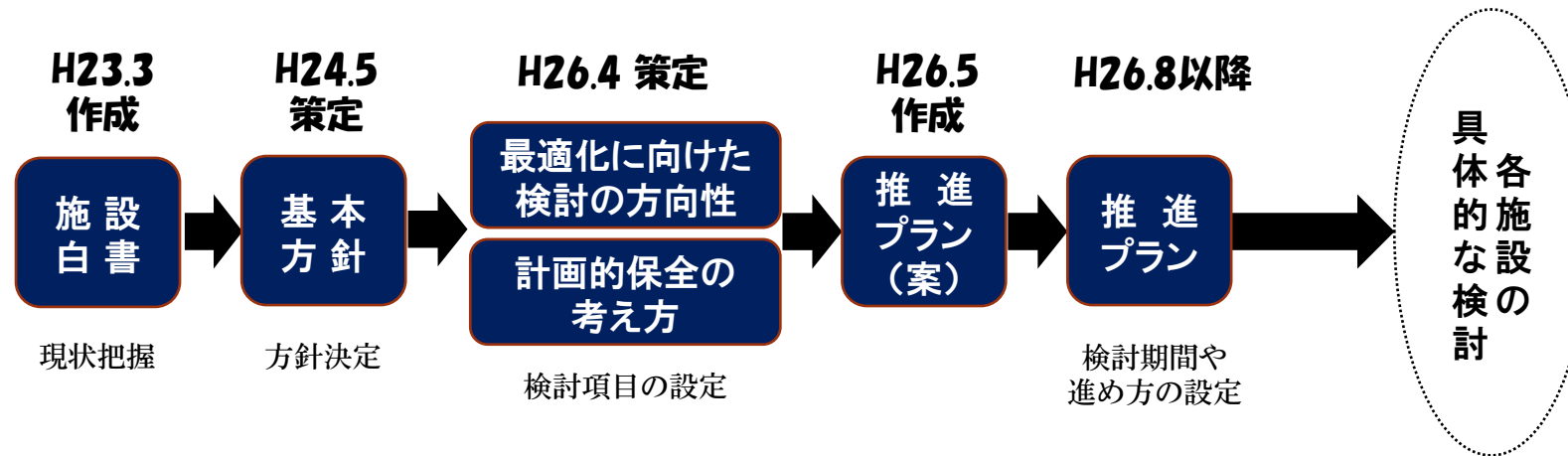
- 検討期間を定める → 計画的な実行
- 具体的な検討内容を定める → 行動目標の共有
- 担当を定める → 役割分担の明確化



これらの内容を盛り込んだものが、第1次府中市公共施設マネジメント推進プラン（案）です。

1-まとめ

■ 公共施設マネジメントの取組の流れ



(参考) 公共施設マネジメントに関するその他の取組

- ・平成25年5月～8月 公共施設マネジメント入門講座（全6回）の開催
- ・平成25年9月～10月 公共施設に関する市民アンケートの実施
- ・平成25年11月 公共施設に関するシンポジウムの実施
- ・平成26年3月～4月 公共施設に関する意見交換会（全10回）の開催

2. 推進プランは「なぜ必要か？」

■ 説明の流れ

1. 第1次府中市公共施設マネジメント推進プランとは「何か？」



2. 第1次府中市公共施設マネジメント推進プランは「なぜ必要か？」



3. 今後の取組を「どのように進めていくのか？」

2-① 公共施設の状況

■ 府中市の状況 1

- ・市の施設約64万㎡のうち築30年以上の施設は約42%で、今後施設のために必要となる費用は、これまでの約2倍に増加する見込み
- ・市民1人当たりの公共施設の延床面積（2.54㎡/人）は、近隣自治体では多い

図 築年別整備状況

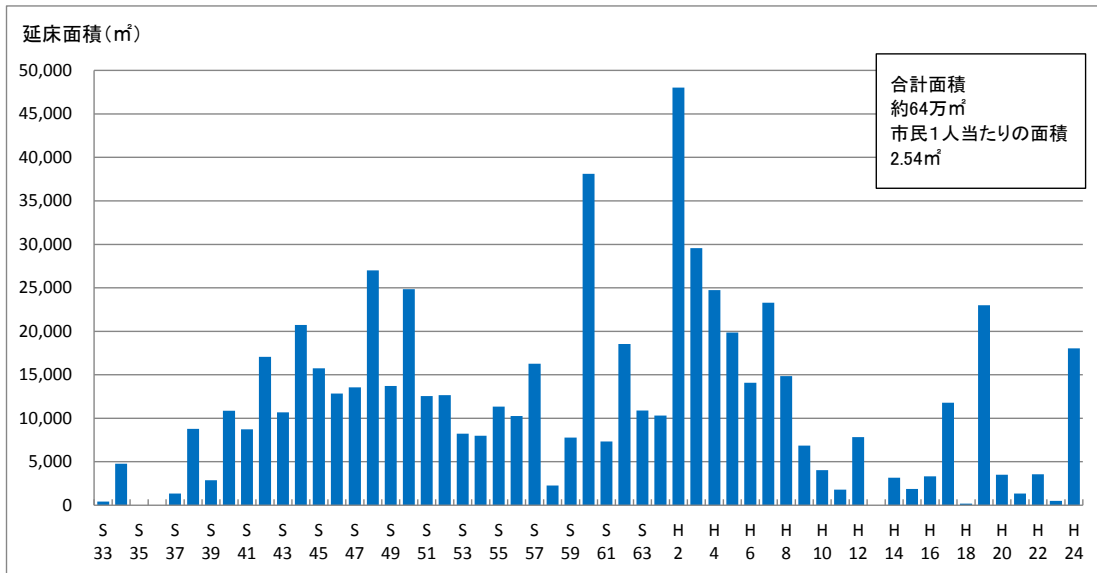
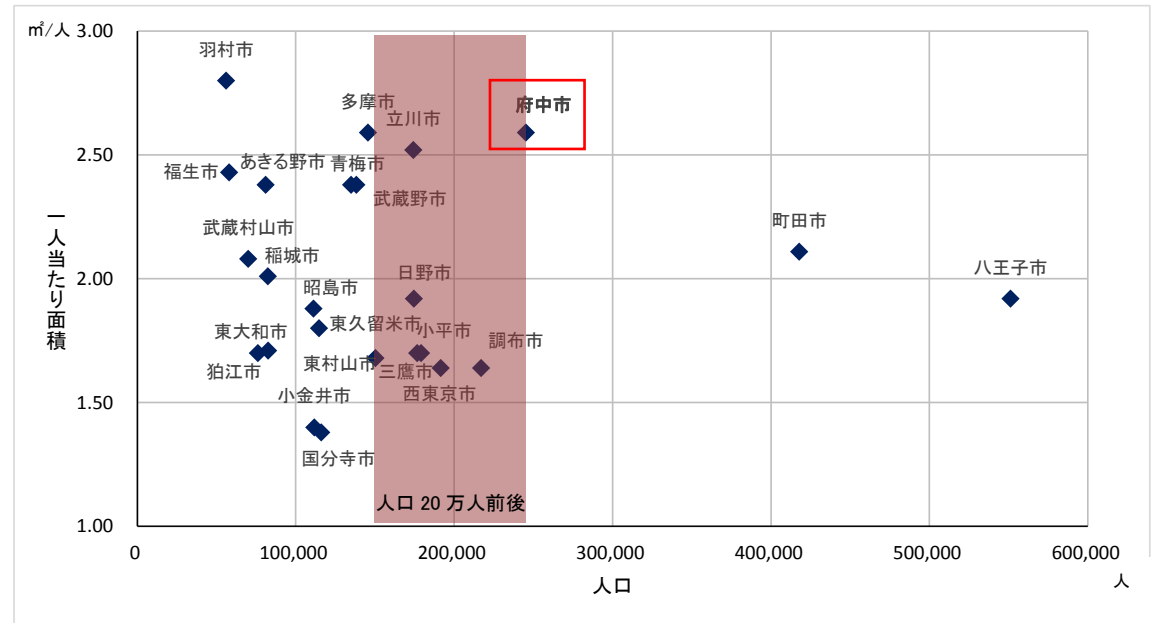


図 市民1人当たりの公共施設面積の比較(多摩地域 26 市)

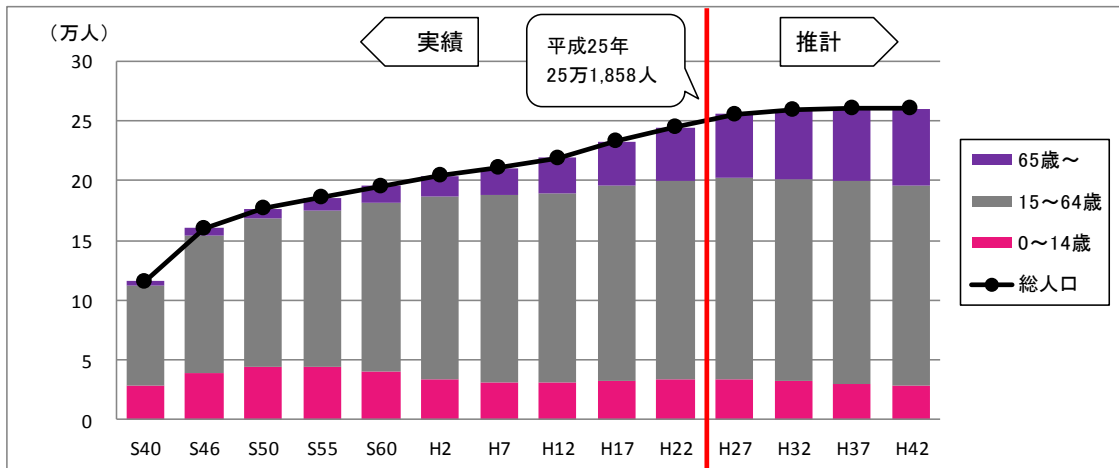


2-② 人口の状況

■ 府中市の状況 2

- ・ 少子高齢化の一層の進行と人口減少社会の突入

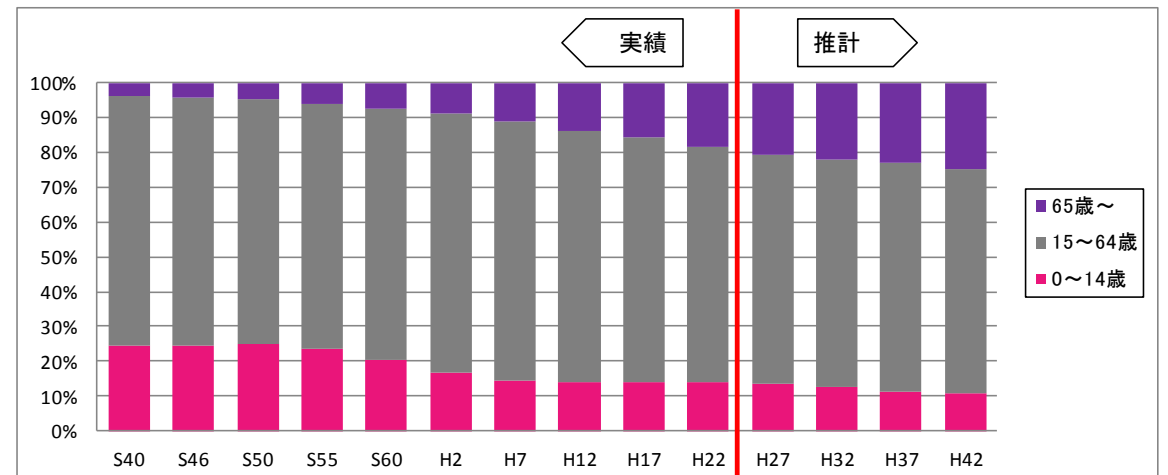
図 人口の推移



【年齢別】	S40	S46	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
65歳～	4,186	6,449	8,376	11,321	14,072	17,805	23,239	29,868	36,975	44,775
15～64歳	83,081	114,661	124,306	130,868	141,483	152,636	157,074	158,750	163,772	166,112
0～14歳	28,557	39,102	43,992	43,836	39,857	33,882	30,478	30,455	32,431	33,947
● 総人口	115,824	160,212	176,674	186,025	195,412	204,323	210,791	219,073	233,178	244,834

【年齢別】	H27	H32	H37	H42
65歳～	53,077	57,447	60,195	65,051
15～64歳	168,394	169,402	170,622	167,129
0～14歳	34,122	32,143	29,720	28,159
● 総人口	255,593	258,992	260,537	260,339

図 全人口に占める年齢別人口の割合



【年齢別】	S40	S46	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22
65歳～	3.6%	4.0%	4.7%	6.1%	7.2%	8.7%	11.0%	13.6%	15.9%	18.3%
15～64歳	71.7%	71.6%	70.4%	70.3%	72.4%	74.7%	74.5%	72.5%	70.2%	67.8%
0～14歳	24.7%	4.0%	4.7%	6.1%	7.2%	8.7%	11.0%	13.6%	15.9%	18.3%

【年齢別】	H31	H32	H37	H42
65歳～	20.8%	22.2%	23.1%	25.0%
15～64歳	65.9%	65.4%	65.5%	64.2%
0～14歳	13.4%	12.4%	11.4%	10.8%

2-③ 財政の状況

■ 府中市の状況 3

- ・ 歳入の大幅な増加がない一方で、歳出、特に扶助費の伸びが顕著
- ・ 今後も同様の傾向が続く

図 歳入(普通会計)の推移

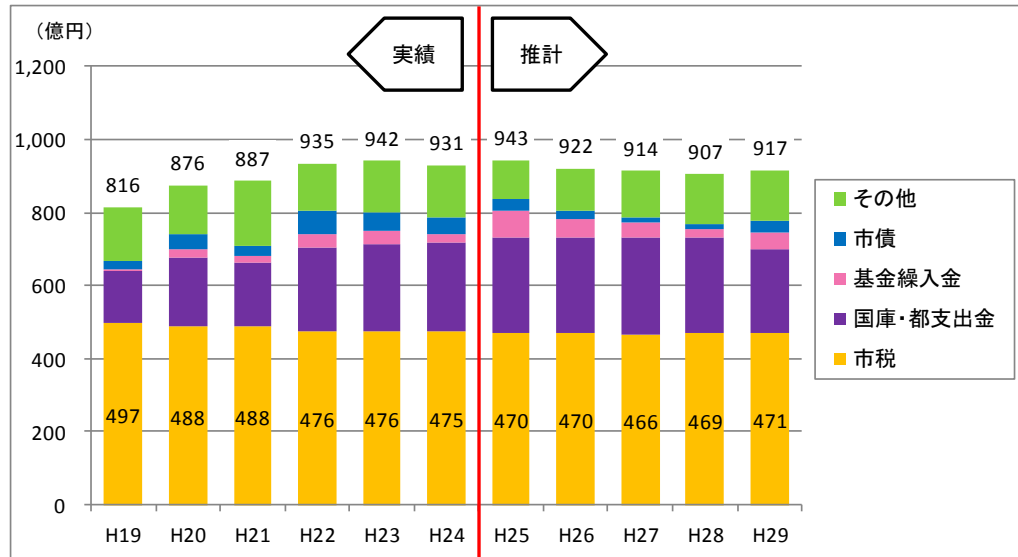
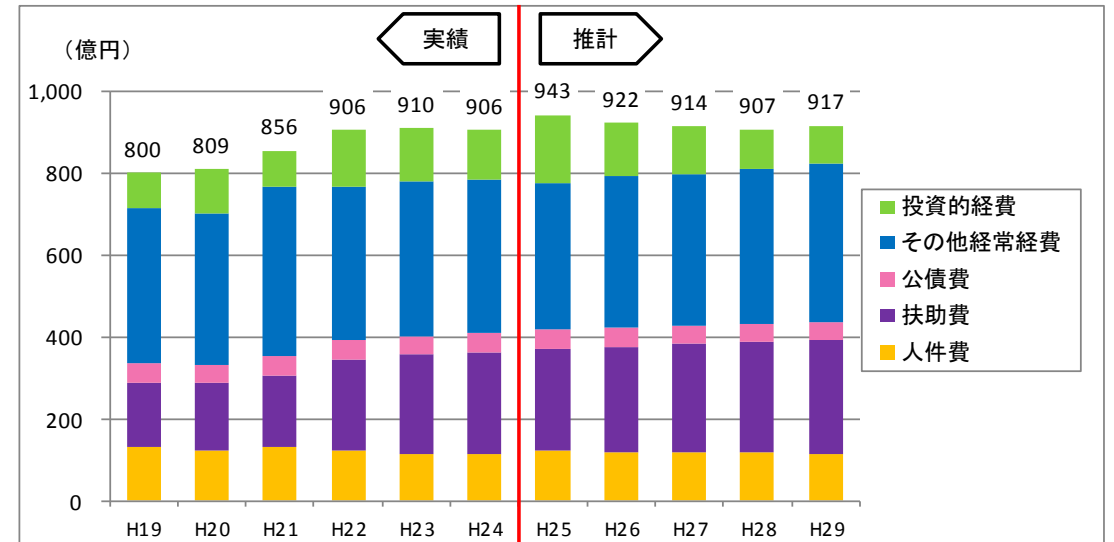


図 歳出(普通会計)の推移



2-まとめ

■ 取組の必要性

- ・ 公共施設マネジメントの取組は、市民共有の財産を適切な規模で、かつ良好な状態で将来に引き継いでいくこと
- ・ 更なる施設の活用を図り、今後の社会状況や財政状況などを見据えた新たなサービス体制の構築が必要

課題を先送りせず、市民の皆さんと検討を進めていくため、
推進プランを策定

図 公共施設マネジメントに取り組む必要性

施設の老朽化

- 府中市は、近隣自治体と比較して多くの公共施設を持っている。
- 人口増加が急速に進んだ昭和40年～50年代前半にかけて多く建設され、建物の改修・維持には今後膨大な費用が発生する。

厳しい財政状況

- 府中市の歳入は今後の経済状況や少子高齢化の進展などにより大幅な増加は見込まれない。一方で、歳出は社会保障関係費等の増加が見込まれている。
- 公共施設の維持及び更新のためには、今後40年間で年平均70億円、近年の2倍の費用が必要となる。

市民ニーズの変化

- 施設を設置した当時に想定した市民ニーズと、現在、また将来想定されるニーズは、人口構造や社会状況の変化により異なってくる。

次世代に過度な負担を残すことなく、これまで整備してきた良好な財産を引き継いでいくためには、施設の適切な維持管理と有効活用に取り組む必要がある。

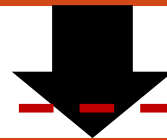
3. 今後の取組を「どのように進めていくのか？」

■ 説明の流れ

1. 第1次府中市公共施設マネジメント推進プランとは「何か？」



2. 第1次府中市公共施設マネジメント推進プランは「なぜ必要か？」



3. 今後の取組を「どのように進めていくのか？」

3-① 第1次推進プランの計画期間

- 平成26年度から平成29年度までの4年間で計画期間
- 各施設によって検討期間は異なる
- 平成29年度には、それまでの取組の成果や社会情勢等を踏まえて、次の4年間で計画期間とする「第2次推進プラン」を策定

図 総合計画と推進プランの関係性

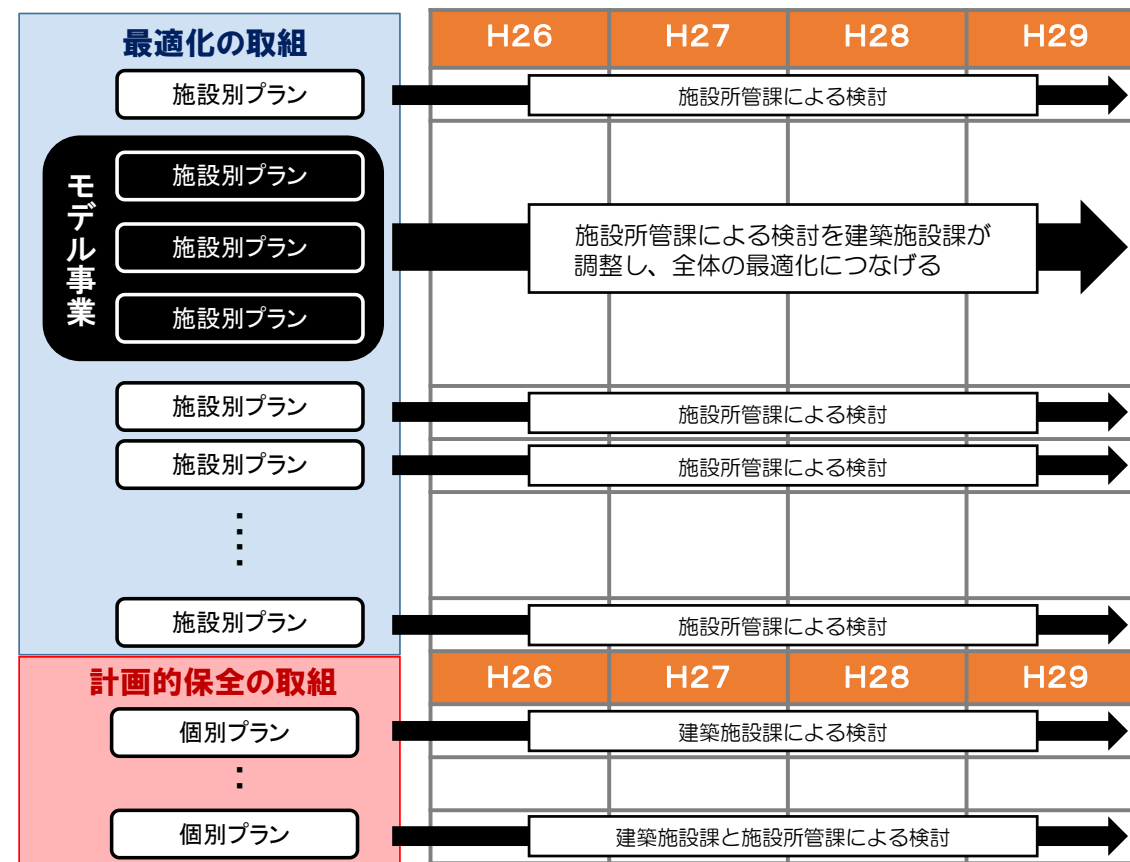
H26～H33 第6次総合計画		H34以降 第7次総合計画				...
H26～H29 前期基本計画	H30～H33 後期基本計画	H34以降 前期基本計画				...
H26～H29 第1次推進プラン	H30～H33 第2次推進プラン	H34以降 第3次推進プラン				...

3-② 第1次推進プランの検討パターン

■ 最適化の取組の進め方は、2つのパターン

- ・ 施設別プラン = 施設（群）ごとの検討
 内容は？ : 平成26年4月に策定した「検討の方向性」の短期の内容について検討
- ・ モデル事業 = 異なる用途の施設を一括検討
 内容は？ : ①府中駅周辺施設の再編、②学校施設の更なる活用について検討

図 第1次推進プランのイメージ図



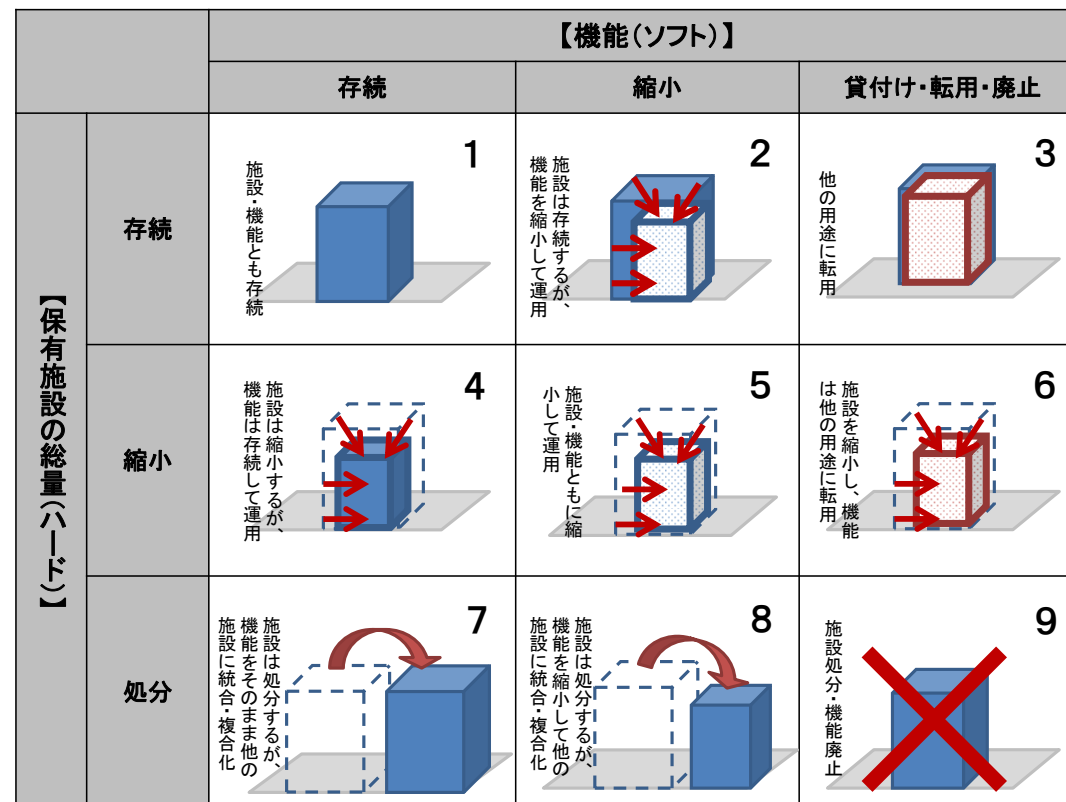
3-③ 第1次推進プランの検討内容

- 最適化に向けた検討内容は、①施設総量（ハード面）、②機能（ソフト面）、③運営の見直しの3つの視点から設定し、各施設の状況に応じて選択

表 検討の方向性を定める項目

視点	検討項目	概要
施設総量 (ハード)	存続	市が同じ規模で保有する検討
	縮小	建替え時等に規模を縮小する検討
	処分	施設の売却や譲渡等の検討 (他自治体と連携して運用する場合を含む。)
機能 (ソフト)	存続	機能を残す検討 (他の施設と補完し合うことを含む。)
	縮小	機能を縮小する検討
	貸付け・ 転用・廃止	民間への貸付けによる他の機能への転用 等の検討
運営の見直し		効率的な運営、市民サービスの向上を検討

図 検討の方向性のイメージ図



3-④ 施設別プランの見方

推進プラン案
20、21ページ

- 例えば、府中グリーンプラザは・・・

施設名称	府中グリーンプラザ			
建物	階数	延床面積	しゅん工年度	築年数
	地上7階、地下2階	6,729 m ²	昭和55年(1980年)	33年
施設配置				
特記事項	<p>・本館は耐震診断において「耐震性能あり。」の結果が出たが、建築後30年以上経過し、大規模改修が必要な時期を迎えている。</p>			
運営	概要			
目的	市民文化の向上を図るとともにコミュニティ活動を増進するための施設			
機能	けやきホール、展示ホール、会議室(8室)、音楽練習室(4室)、和室(2室)、託児室及び府中NPO・ボランティア活動センター			
運営	【指定管理者】公益財団法人府中文化振興財団(平成27年度末まで)			
現状	<p>・稼働率(平均)は、音楽練習室が約100%と高く、会議室(講習室、集会室含む)も約80%と高い。一方、けやきホールと展示ホールの稼働率はそれぞれ約50%、また和室は約60%とあまり高くない。</p> <p>・府中駅周辺には公共施設が多く整備されているが、市内には類似する施設も存在することから、効率的かつ効果的な施設配置を検討する必要がある。</p>			

検討の方向性(短期)				
対応	検討イメージ図	保有施設の総量	機能	運営の見直し
短期		<p>・府中駅周辺の施設配置の状況や施設の老朽化の点などから、処分を検討する。なお、既存機能については他の施設での対応を検討する。</p>		

↓ スケジュールの具体化

短期(平成26年度～平成29年度)スケジュール				
	H26	H27	H28	H29
内容	○府中駅周辺施設の再編(モデル事業)について検討	●府中駅周辺施設の再編(モデル事業)に関する方針の決定	○方針に基づく取組の実施	▽継続
期待する主な効果	<ul style="list-style-type: none"> ・類似機能の統廃合による効率的な施設運営 ・施設の維持管理及び更新にかかる市の歳出削減 ・処分等による歳入の確保 			
特記事項	・次期指定管理者について、本取組の結果に応じた柔軟な対応が可能となるよう調整を行う。			
担当課	文化スポーツ部文化振興課			

↓ 将来的な見通し

検討の方向性(中期・長期)				
対応	検討イメージ図	保有施設の総量	機能	運営の見直し
中期	-	<p>・検討結果を踏まえた取組の実行と評価、更なる改善方策の検討を行う。</p>		
長期				

3-⑤ モデル事業の目的と概要

■ 目的

最適化を進めるに当たっては、異なる用途の施設を組み合わせることで検討することにより、更なる施設の活用も期待できることから、いくつかの施設を抽出し、最適化に向けたモデル事業と位置付けて検討を行います。

■ 概要

① 府中駅周辺施設の再編

府中駅周辺に設置されている多種多様な公共施設の今後の活用について、各施設単位ではなく、複数の施設を組み合わせ、より効率的かつ効果的な方法を検討する。

② 学校施設の更なる活用

様々な機能を有する学校施設の更なる活用に向け、機能が重複する学校プールの活用を検討するほか、将来を見据えた検討を行う。

3-⑥ 具体的な検討に当たって

- この取組は、市民の皆さんと行政が知恵を出し合いながら進めていきます。
- 公共施設は市民共有の財産であり、様々な立場の方からのご意見が重要です。
- 早くから課題に取り組み、検討及び実行へと進んでいくことが、単なる施設の削減ではない、公共施設マネジメントの取組につながります。

皆様のご意見をお聞かせください。

(問合せ) 府中市行政管理部建築施設課
公共施設マネジメント担当
TEL 042-335-4358
FAX 042-366-7752
E-mail kenchiku04@city.fuchu.tokyo.jp